

科目名	卒業研究ゼミ 1 (卒業必修)		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022 年度 後期	単位数	1
担当教員	大橋 良生		
内容および計画	<p>【内容】 財務諸表をはじめとする会計情報は、企業の日々の経営活動を反映した集約情報であり、その理解は、今日の経済社会を理解する上で不可欠である。そこで、本ゼミ 1 年次では、企業（及び他の組織）の財務諸表の作成方法に関する基本的知識を身につける。また、その知識に基づき、実際の財務諸表から経営活動の成果を測定・評価する分析を視野に入れた卒業研究に結びつくよう、経営活動全般に関する基本的理論を習得する。</p> <p>【計画】 最初に、企業経営に関する基本的理論を理解するためにテキストを輪読する。その後、より専門的に会計学の知識を深めていく。また、より実践的な学習として、株式学習ゲーム（日本証券業協会・東京証券取引所主催）への参加を検討する。半年間のゼミの成果として、課題レポートの提出あるいはプレゼンテーションを課す予定である。</p>		
1	テキストの輪読・ディスカッション		
2	テキストの輪読・ディスカッション		
3	テキストの輪読・ディスカッション		
4	テキストの輪読・ディスカッション		
5	テキストの輪読・ディスカッション		
6	テキストの輪読・ディスカッション		
7	テキストの輪読・ディスカッション		
8	テキストの輪読・ディスカッション		
9	テキストの輪読・ディスカッション		
10	テキストの輪読・ディスカッション		
11	テキストの輪読・ディスカッション		
12	テキストの輪読・ディスカッション		
13	テキストの輪読・ディスカッション		
14	テキストの輪読・ディスカッション		
15	テキストの輪読・ディスカッション		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
谷武幸・桜井久勝・北川教央（2021）『1 からの会計<第 2 版>』碩学舎 (ISBN9784502371516) や日本大学商学部経営学科 編（2020）『はじめての経営学』同文館出版 (ISBN9784495390358) など、会計学および経営学に関するテキストを使用する。なお、最終的には学生との話し合いで決定する。			
参考書	田中共子編『よくわかる学びの技法 [第 3 版]』ミネルヴァ書房、2018 年 (ISBN9784623084807)、白井利明・高橋一郎『よくわかる卒論の書き方 [第 2 版]』ミネルヴァ書房、2013 年 (ISBN9784623065721) を含めて、必要に応じて提示する。		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	プレゼンテーション（輪読報告）	40	
	課題提出（長期休みにおける課題を含む）	40	

ゼミ活動への積極性・貢献度（ディスカッションを含む）	20
上記評価項目・評価割合を基本とし、総合的に評価する。	
学習到達目標	会計学・経営学に関するテキストの内容を、各自がまとめたレジュメに基づき、報告できる力を身につける。また、他のゼミ生によるプレゼンテーションに対し、自らの意見を説明し、他者とディスカッションを行う力を身につける。
先修条件	特になし。ただし、「会計学入門」や「経営学入門」「現代企業論」など、特に、会計学・経営学に関する科目を履修していることが望ましい（詳細は、ガイダンス時に配布される履修モデルを参照のこと）。
実務経験	
その他	ゼミ生には、自主性・積極性を期待する。プレゼンテーション、レポート、簿記など、最初から完璧にできるわけではないので、失敗を恐れず、積極的に挑戦し、また向上する意識をもって臨んでもらいたい。なお、卒業研究ゼミ2のシラバスも併せて参照すること。